



各 位

平成 28 年 10 月 14 日

会 社 名 株式会社ソルガム・ジャパン・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 赤尾 伸悟
(J A S D A Q コード・6636)
問 合 せ 先 取締役管理部長 中原 麗
電 話 03 - 6450 - 3616

日タイ農業協力対話 官民ミッション参加のお知らせ

当社完全子会社 SUPER SORGHUM ASIA HOLDINGS PTE. LTD. (以下、「SSA」) 並びに、子会社であるタイ王国 (以下、「タイ」) の現地法人 THAI SUPER SORGHUM Co., LTDは、平成28年10月13日にタイ バンコク市内で開催されました「日タイ農業協力対話 官民ミッション」に参加いたしましたのでお知らせいたします。

記

今回タイで初めて開催されました「第1回 日タイ農業協力対話 官民ミッション」は、平成27年7月にタイで開催された「日タイハイレベル農業協力対話のための準備会合」において、両国間での定期的な対話立ち上げに向けた調整を進めることで一致するなど、平成28年5月に署名された「日タイ農業協力に関する外相間覚書 (MOI)」において両国農業担当省のハイレベルによる定期的対話の早期設立が再確認されました。これにより、タイの農林水産業の包括的発展に向けた官民協力を促進するため、日タイ両国政府間により開催されたものです。

当社およびSSAは同協力対話の中で、スーパーソルガム事業の概略についてプレゼンテーションを行う機会を与えられ下記3点につき発表を行い、日タイ両国政府に対してスーパーソルガム事業への理解と協力を要請いたしました。

- 1 「スーパーソルガムの3つの特徴 (注1)」
- 2 「2015年～2016年に実施されたタイの比較試験栽培 (スーパーソルガムとタイ側で選抜したテキサス型ソルガムの比較試験) の結果を説明し、スーパーソルガムが優れたパフォーマンスを発揮したこと (注2)」
- 3 「スーパーソルガム事業を通して、タイの農業発展に貢献すること」

SSA発表においては、タイの農業協同組合省のPrayurasiddhi事務次官より、昨年大規模な干ばつが発生したにもかかわらず実証試験栽培においてスーパーソルガムが高収量を得た結果に対し高い評価をいただき、スーパーソルガムの品種の優れたハイブリッド技術に非常に強い関心を寄せていただきました。

当社は今後も引き続き、昨年より取り組んでいるタイプロジェクトの推進、そしてタイ経済・農業の発展、地域に貢献できるようタイ現地法人を通じて事業に取り組んでまいります。

(注1)

① 生長スピードと高い収穫量

生長が早く、低緯度地域では2.5～4ヶ月で一度目の収穫が可能なうえ一度の播種で3回(年)の収穫が可能

② 日本の最先端品種改良技術の活用

短期間で目的・地域にあった最適品種を選抜・開発することができる技術(種子開発メーカーへ委託)

③ 用途の多様性

サイレージ・液糖・鶏用飼料など様々な食の需要に対応可能なうえ、バイオエタノールや発電用バイオペレットなどの再生可能エネルギーの原料として活用可能

(注2)

スーパーソルガム「TH-SE2(乾燥耐性品種)」の3番草までの予測収量は330トン/ha、比較品種であるタイ側で選抜したCowley(テキサス型ソルガム)の3番草までの予測収量は155.8トン/ha、比較試験栽培の結果、スーパーソルガムは高い収穫量を示しております。

以 上

日タイ農業協力対話の様子 | タイ バンコク市内



プレゼンテーションの様子

SUPER SORGHUM ASIA HOLDINGS PTE. LTD. | 取締役 池畑 潤



スーパーソルガムとタイ側で選抜したテキサス型ソルガムの比較試験栽培の説明の様子
SUPER SORGHUM ASIA HOLDINGS PTE. LTD. | 取締役 池畑 潤

